








# ソケイヘルニアの手術を受ける方の入院診療計画書(2)

様

入院日: 月 日 主治医

担当看護師

退院基準 : 手術部位の感染がない・痛みがコントロールされている

	外来	入院当日( / )	手術当日( / )	手術当日(後)	術後1日目( / )	術後2日目( / )	術後3日目( / )	退院日
検査・治療・処置	血液検査 胸部・腹部レントゲン撮影 心電図検査 上記の検査を行います。	午前手術の場合は、 左手に点滴を留置します。	朝7時頃、洗腸を行います。  手術着に着替えます。  午後手術の場合は、手術当日の朝、左手に点滴用の管を入れます。	手術直後は15~30分毎に検温しますが、その後は1時間、夜に検温を行います。 創部の観察を行い、必要時交換します。	体温・脈拍・血圧を朝に測ります。  午前9時ごろより医師、看護師による回診に回ります。ガーゼの観察を行います。	体温・脈拍・血圧を1日一回測ります。  回診時、傷の観察をします。きれいな傷なら消毒はありません。ガーゼをはずします。	体温・脈拍・血圧を1日1回測ります。  回診時、傷の観察をします。	術後7日目に抜糸します。  回診時、傷の観察をします。 
薬剤	<b>普段内服している薬がありましたらお知らせ下さい。</b> 	下剤2錠を21時にお飲み下さい。	午前手術の場合は、朝6時頃から点滴を始めます。午後からの手術の場合は午前10時頃から点滴を始めます。	点滴を行います。  痛みがある時は痛み止め、熱がある時は解熱剤を使うことがあります。 吐き気があれば看護師にお知らせ下さい。				
安静度,リハビリテーション	普段通りの生活ができます。	病棟内歩行可		手術後6時間までは、ベット上安静になります。 * 帰室後6時間経ちふらつき血圧、脈拍等異常なく気分不快がなければ看護師が付き添いリハビリ歩行可能となる。	病棟内歩行可			
排泄	制限はありません	制限はありません		術後6時間まではベット上排泄になります。その後麻酔が切れ歩行できれば、普段通りに排尿できます。	制限ありません。			
清潔	入浴できます	手術する部位の毛を剃ります。その後、入浴してください。	時計、指輪等アクセサリリー、入れ歯等外せるものは外してください。 化粧、マニキュアはしないで下さい。		体を拭き、パジャマに着替えます。		シャワー浴の許可ができます。(術後3日目から) 	
食事・栄養管理		食事は、夕食まで食べられます。	食事をとる事はできません 午前手術は6時から水分は飲めません。 午後手術は8時から水分は飲めません。 	帰室後、2時間後よりむかつきが無ければ水分や食事をとることができます。	普通食が食べられます。制限はありません。 			
説明指導教育	<手術の必要物品> バスタオル1枚、 コップと曲がるストロー、入れ歯入れ(必要時)	病棟の案内をします。 手術前後の経過について説明します。 (主治医・看護師) 手術室看護師の訪問があります。 薬剤師から薬の説明があります。 	術衣に着替える前(手術室入室する30分前)排尿を済ませ下さい。  リストバンドを付けます。  手術室入室する時間( 時 分の予定) ご家族のかたは、手術が始まりましたら、A棟5階食堂でお待ち下さい。	水分・食事の開始許可がでたらお知らせします。  ご家族の方本人へ主治医から手術結果の説明があります。 看護師が案内します。	麻酔の影響で吐き気が起こる事があります。 麻酔の影響で頭痛が起こる事があります。安静臥床で緩和します。 水分を多めに摂るようにしましょう。 	(麻酔の影響で頭痛、吐き気が起こる事があります)	(麻酔の影響で頭痛、吐き気が起こる事があります)	お腹に力のかかる運動や激しい運動は1ヶ月間は避けるようにしましょう。 長時間の正座・立ち仕事・頻繁な階段の昇降も1ヶ月間は避けるようにしましょう。 規則正しい食生活を心がけ便秘を予防するようにしましょう。

上記内容について説明を受けました。ご氏名

(署名)